

① 6月6日マグナより学生9名、随行者2名、教育研修1名が来日する。

② ホームステイ先は、昨年湯沢から研修に行った保護者会から受け入れて頂いた。

③ 湯沢町からの今年度の研修生は13名、随行者2名で7月28日から8月9日を実施する。(女性11名、男性2名)

□委員から

● 教育交流だけでなく、文化・産業・住民交流もなければ姉妹都市にはならないのではないか。

▲ 姉妹都市への足がかりとして教育交流をしている。お互いの信頼が必要である。

○ マグナに行った生徒同士で何かしらの連携を作って、地域に貢献出来るよう、総務課、学校教育課。湯沢中学校で考えて頂きたい。

開会中の委員会審査

6月13日

●議案第32号

湯沢町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について  
(賛成多数で可決すべきものと決定)

町民の半数が加入しているが、医療費の伸び、課税の算定基礎の所得が落ちていくことから、国民健康保険税率の改定を行わざるを得ない。

資産割を段階的に縮小し、H19年度で廃止の予定。

●請願第2号

30人以下の学級の実現をはじめとする教育予算の充実を求める請願については、賛成全員で採択すべきものと決定。

●請願第3号

義務教育費国庫負担制度の現行維持を求める請願については、賛成多数で採択すべきものと決定。

産業建設常任委員会 委員長報告

閉会中の委員会調査

5月10日

一、観光事業会計 平成16年度収支について

□調査結果

16年度ロープウェイ利用者 19万4千621人、

収入3億3千916万8千373円 (前年比84.2%)

◇冬計 6万6千153人、 (前年比89.9%)

収入2億5千822万2千342円 (前年比81.5%)

◆事業収益 5億9千739万699円、

◆営業費用 6億1千912万5千796円

◆16年度実質赤字 6千732万1千932円

これに15年度資金不足2千234万円を加えると、不足額の合計は8千966万3千円であった。

15年12月一般会計支援額1億7千400万円は収益の増4千700万円+経費の節減2

千400万円で5千万円の減額になった。

○観光事業改革について助役説明

検討会で結論は出ていないが、民営と言う事で検討している。

二、大源太工房について

中山間地域総合計画全体事業15億円(うち事務費7千400万円)町の負担分2億6千450万3千円(事業費の15%と事務費の25%、活性化施設用地費、借地料等)

農園は平均50.5㎡、77区画。6月頃完成。

◇総収入2千678万5千821円(町委託料1千500万円含む)

入込み客数1万1千976人

◇支出2千272万5千968円(人件費、光熱費、原材料費等)

16年度収支は405万円の赤字。

16年度生産調整玄そば作付け3.2ha、1423.4kg

その他で203kg

来年は町内産でまかないたい。



完成した大源太体験工房の貸し農園施設